



新入職医師のご紹介



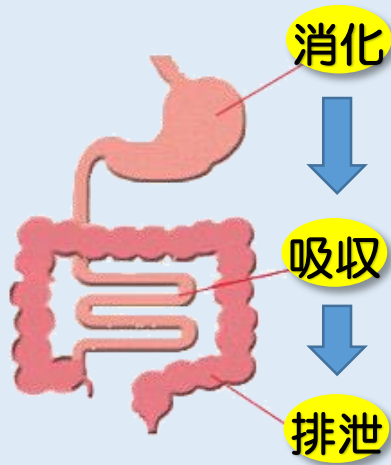
【内科医】大田 宗司 (おおた むねじ)

出身校 川崎医科大学 (平成20年卒)
 主な経歴 高槻赤十字病院、若草第一病院 (医長)、奈良県総合医療センター・救命救急センター、済生会泉尾病院を経て平成28年度より友愛会病院勤務
 専門 一般内科
 資格等 内科認定医

12月11日は「胃腸の日」です!

胃腸の日 (12月11日) は、「いに (12) いい (11)」 (胃に良い) という語呂合わせと、一年の締めくくりの師走に、これまで負担をかけてきた胃と腸をいたわって欲しいとの願いから、2002年に日本OTC医薬品協会が制定しました。

【胃腸の働き】



消化 歯で噛み砕かれた食物は、胃でさらに揉みほぐされます。

口腔、胃、十二指腸、小腸などでは、色々な消化液が分泌され、食物を消化吸収しやすい形にまで分解します。

吸収 主に小腸で、分解された食物から栄養分が吸収されます。ただし、アルコールは胃でも吸収されます。

排泄 最後に残った残りかすは、腸内細菌の働きでさらに分解され水分も吸収されて容積が減り、便として排泄されます。

腸は食事の内容やその人の健康状態をダイレクトに反映します。便やおならが異常に臭いときは、腸内で悪玉菌が増えている証拠なので、食生活が乱れていないか、十分な休養がとれているかなど、生活を見直してみましょ。最近の日本人に増えている大腸がんは、60代が発症のピークですが、徐々に若年齢化してきています。自覚症状だけでは気づきにくいケースも多いので、40歳を過ぎたら、年に1度は大腸がん検診を受けるようにしましょう。



《病院理念》

私たちは医療を通じて健康で心豊かな社会の実現を目指します

《基本方針》

1. 救急医療の充実を図り、医療の質の向上に努めます。
2. 在宅部門の充実を図り、他の施設と連携し地域医療サービスを推進します。
3. 疾病予防、健康増進の知識を普及します。
4. 開かれた病院として、患者さんの権利を尊重します。
5. 環境整備と安全対策に留意し、患者さんに満足と安心を提供します。

大腸がんを寄せ付けない心がけ

☆動物性の脂肪をとりすぎない。



☆食物繊維をたくさんとる。

☆便秘をしない。



☆適度な運動をする。

このような症状の時は病院を受診しましょう。

便に血が混じる

下血する



下痢と便秘を繰り返す
(便通異常)



腹痛がある



大腸検査の流れ

検査前日

- ・3食(+間食付き)検査食を食べます。
- ・夜20時に2種類下剤を服用します。



検査当日

- ・朝食は食べずにご来院ください。(お茶、水は飲んでも構いません)
- ・2リットルに溶かした検査前処置用下剤を、約2時間かけて分けて飲みます。
- ・便に固形物がなくなり、透明感のある液体になれば検査可能となります。
*** 便の状態はその都度、看護師が確認します!!**
- ・鎮静剤を使用して、肛門より内視鏡を入れて検査をします。



編集後記

冬の健康管理 ～インフルエンザの予防～

今年の冬は例年に比べ1カ月ほどインフルエンザ流行の兆候が早いそうです。予防には、外出時にマスクを着用し、帰宅時にはしっかりうがい手洗いをし、十分な睡眠とバランスの良い食事、適度な運動を心がけ、ワクチン接種を受けることがお勧めです。しっかり備えて健康に年末年始を過ごしましょう！

友愛会病院 広報委員会

○友愛会病院のホームページも是非ご覧ください。http://www.sanwakai.jp/

